

電子入札実施に伴う制度について

次の制度については、電子入札案件のみ適用いたします。

1 変動型最低制限価格制度の導入

変動前の最低制限価格の算出方法で得た金額を最低制限価格基準額とします。

この最低制限価格基準額に、開札時にコンピュータで 0.9900 から 1.0100 の 0.0001 刻みで発生させたランダム係数（通常、201 通り）を乗じて、変動後の最低制限価格を算出します。

予定価格の範囲内で、変動後の最低制限価格以上の金額を提示した者の内、最低価格を提示した者を落札予定者とし、事後審査を行うこととなります。

例)

予定価格 125,000,000 円、低入札調査基準価格 101,250,000 円

最低制限価格基準額 97,500,000 円

ランダム係数 1.0010 の場合 (97,500,000 円×1.0010=97,597,500 円)

変動後の最低制限価格は、97,597,500 円となります。

(結果)

参加者	入札価格	結果
A社	97,500,000 円	失格
B社	98,470,000 円	
C社	126,000,000 円	失格
D社	100,500,000 円	
E社	99,500,000 円	
F社	98,000,000 円	
G社	97,610,000 円	落札予定者
H社	98,500,000 円	

(価格は全て税抜きとします。)

となり、G者を落札予定者として、事後審査を行います。

事後審査で資格が有となった場合、引続き低入札価格調査を実施します。

調査の結果適合した履行がされると認められた場合、G社が落札者となります。
(建設コンサルタント業務においては、現在、低入札価格調査は実施しておりません。)

2 価格の公表

予定価格、低入札調査基準価格、最低制限価格基準額を事前公表します。

3 電子くじの採用

電子入札案件で最低価格の同価での入札者が複数あった場合、コンピュータを利用した電子くじを実施します。

<電子くじの方法>

電子入札の入札日時のミリ秒と入札時に入力される任意の希望番号（3桁）を利用して順位を決定します。

例)

- ① 参加者入札日時のミリ秒 (A) 10時35分22秒123 ⇒ 123
- ② 希望番号(くじ番号) (B) 入札時入力値(任意の3桁) ⇒ 987

[順位算出方法]

1 予備番号を算出

$$\begin{array}{l} \text{入札日時のミリ秒} + \text{業者希望番号} \Rightarrow \text{予備番号} \\ 123 + 987 = 1110 \Rightarrow 110 \text{ (下3桁)} \end{array}$$

2 落札予定者となる決定くじ番号の算出

(電子くじ対象者の予備番号の総和 ÷ 電子くじ対象者数) の余り値

電子くじ対象者4者の場合

$$(110 + 456 + 003 + 333) \div 4 = 225 \dots 2 \Rightarrow \boxed{2}$$

決定くじ番号

3 順位決定

決定くじ番号と入札順が同じ者が落札予定者となります。

電子くじ対象者 (入札受信日時)	入札日時の早い者から昇順に0から付した番号 (入札順)
A社 (2010年7月1日 10時35分22秒123)	0
C社 (2010年7月2日 13時42分15秒225)	2
D社 (2010年7月3日 9時20分45秒567)	3
B社 (2010年7月2日 12時02分10秒456)	1

落札予定者

順位決定業者を除いて上記2、3の処理を繰り返し行い、各順位が決定されます。